

安全データシート

会 社 : 株式会社 フジコー
 住 所 : 伊丹市行基町1丁目5番地
 担当部門: 品質保証課
 電話番号: 072-772-1101
 F A X : 072-772-0706
 作 成 日 : 2012年8月9日
 改訂日(1): 2017年1月23日
 改訂日(2): 2021年8月26日

[SDS番号 0742]

製品名	フジロン4000R4																											
危険有害性の要約	PRTR対象化学物質を含有しない GHS分類 対象外																											
組成および成分情報	単一製品・混合物の区別 : 混合物 化学名 <table border="0"> <tr> <td>ポリヘキサメチレンアジバミド(ナイロン6,6)</td> <td>Cas No. 32131-17-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化審法 (7)-382</td> </tr> <tr> <td>ポリエチレンテレフタレート</td> <td>Cas No. 25038-59-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化審法 (7)-1022</td> </tr> <tr> <td>酢酸ビニル共重合体</td> <td>Cas No. 9003-20-7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化審法 (6)-295</td> </tr> <tr> <td>アクリル系共重合体</td> <td>Cas No. 非公開</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化審法 既存</td> </tr> <tr> <td>アクリル酸エステル共重合体</td> <td>Cas No. 非公開</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化審法 既存</td> </tr> <tr> <td>メタクリル酸アルキルエステル・アクリル酸アルキルエステル・ アクリル酸共重合物</td> <td>Cas No.非公開</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化審法 6-623</td> </tr> <tr> <td>その他微量成分</td> <td></td> </tr> </table>		ポリヘキサメチレンアジバミド(ナイロン6,6)	Cas No. 32131-17-2		化審法 (7)-382	ポリエチレンテレフタレート	Cas No. 25038-59-9		化審法 (7)-1022	酢酸ビニル共重合体	Cas No. 9003-20-7		化審法 (6)-295	アクリル系共重合体	Cas No. 非公開		化審法 既存	アクリル酸エステル共重合体	Cas No. 非公開		化審法 既存	メタクリル酸アルキルエステル・アクリル酸アルキルエステル・ アクリル酸共重合物	Cas No.非公開		化審法 6-623	その他微量成分	
ポリヘキサメチレンアジバミド(ナイロン6,6)	Cas No. 32131-17-2																											
	化審法 (7)-382																											
ポリエチレンテレフタレート	Cas No. 25038-59-9																											
	化審法 (7)-1022																											
酢酸ビニル共重合体	Cas No. 9003-20-7																											
	化審法 (6)-295																											
アクリル系共重合体	Cas No. 非公開																											
	化審法 既存																											
アクリル酸エステル共重合体	Cas No. 非公開																											
	化審法 既存																											
メタクリル酸アルキルエステル・アクリル酸アルキルエステル・ アクリル酸共重合物	Cas No.非公開																											
	化審法 6-623																											
その他微量成分																												
応急措置	<p> 眼に入った場合: 直ちに清浄な多量の水で洗浄して下さい。不快感が残ったり、目に刺激が続く場合には、眼科医の診療を受けて下さい。 皮膚に付着した場合: 取扱い後は、清水、石鹼で洗って下さい。皮膚に異常があった場合は、医師の診断を受けてください。 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所へ移して下さい。症状により医師の診断を受けて下さい。 飲み込んだ場合: 多量の水を飲ませ、吐かせて下さい。また、医師の診療を受けて下さい。 </p>																											
火災時の措置	<p> 消火方法: 一般火災と同じ消火方法を適用できます。周囲の火災状況に適した消火剤を下記から選択し、使用して下さい。 燃烧、不完全燃烧または高温により、窒素、アンモニア酸化物、二酸化炭素、一酸化炭素、その他の低分子量炭化水素を含む有毒ガスを発生する可能性があります </p>																											

<p>ます。また、微量のシアン化水素が発生することがあります。呼吸保護具を着用し、風上から消火活動を行ってください。</p> <p>消火剤： 水、炭酸ガス、泡沫消火剤、粉末消火剤、AFFF(水成膜泡消化薬剤)が有効です。</p>																	
<p>漏出時の措置</p> <p>清掃し除去して下さい。河川や公共水路等に流さないで下さい。</p>																	
<p>取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い： (1)繊維の破片及び埃を吸入しない様に、また目に入らない様に、適切な保護具を着用して作業して下さい。(サイドシールド付保護眼鏡等)</p> <p>(2)火気や熱源を避けて下さい。</p> <p>(3)転倒、落下、衝撃を与える等の乱暴な取扱いをしないで下さい。</p> <p>(4)粉塵の発生と蓄積を最小限に抑えてください。</p> <p>保管： (1)包装は密閉し、直射日光、高温多湿、雨水、電気の接地等をさけ、室内に保管して下さい。</p> <p>(2)積み上げる場合は、荷崩れしない様に注意して下さい。</p>																	
<p>曝露防止措置</p> <p>管理方法： 該当基準なし</p> <p>許容濃度： 該当基準なし</p> <p>保護具： 防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護衣類等定められた保護具を着用して下さい。</p> <p>設備対策： 局所排気装置を設置してください。</p>																	
<p>物理的及び化学的性質</p> <table border="0"> <tr> <td>色相：</td> <td>生成り</td> <td>酸化性：</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>融点：</td> <td>データなし</td> <td>粉塵爆発性：</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>発火点：</td> <td>データなし</td> <td>溶解性：</td> <td>水に不溶、</td> </tr> <tr> <td>臭気：</td> <td>無臭</td> <td></td> <td>一部溶剤に可溶</td> </tr> </table>		色相：	生成り	酸化性：	データなし	融点：	データなし	粉塵爆発性：	データなし	発火点：	データなし	溶解性：	水に不溶、	臭気：	無臭		一部溶剤に可溶
色相：	生成り	酸化性：	データなし														
融点：	データなし	粉塵爆発性：	データなし														
発火点：	データなし	溶解性：	水に不溶、														
臭気：	無臭		一部溶剤に可溶														
<p>安定性および反応性</p> <p>爆発限界： データなし</p> <p>自己反応性： データなし</p> <p>安定性： 常温では安定ですが、燃焼又は熱分解により有毒ガスが発生する場合があります。</p>																	
<p>有害性情報</p> <table border="0"> <tr> <td>急性毒性：</td> <td>データなし</td> <td>発がん性：</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>眼に対する重篤な損傷性：</td> <td>データなし</td> <td>変異原性：</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>皮膚腐食性：</td> <td>データなし</td> <td>生殖毒性：</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>皮膚感作性：</td> <td>データなし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>特定標的臓器毒性</p> <p>吸入： 粉塵を吸入すると、気道に刺激を引き起こす可能性があります。症状として息切れ、胸部の圧迫感、喉の痛み、咳が発生することがあります。</p> <p>皮膚： 通常の使用では刺激は予想されませんが、長期間にわたる曝露や皮膚への繊維粒子の継続的な摩擦により、皮膚に刺激が生じる可能性があります。症状には、発赤、皮膚の乾燥、かゆみ、痛みなどがあります。溶融物と接触すると、熱傷を引き起こす可能性があります。溶融時に発生するガスは目、皮膚を刺激します。</p>		急性毒性：	データなし	発がん性：	データなし	眼に対する重篤な損傷性：	データなし	変異原性：	データなし	皮膚腐食性：	データなし	生殖毒性：	データなし	皮膚感作性：	データなし		
急性毒性：	データなし	発がん性：	データなし														
眼に対する重篤な損傷性：	データなし	変異原性：	データなし														
皮膚腐食性：	データなし	生殖毒性：	データなし														
皮膚感作性：	データなし																

目:	繊維の粒子やほこり等により、目に刺激を受ける可能性があります。 症状には、かゆみ、灼熱感、発赤、涙などがあります。	
摂取:	胃腸閉塞を引き起こし、胃の苦痛を引き起こす可能性があります。	
環境影響情報		
残留性:	データなし	生態毒性: データなし
分解性:	データなし	魚毒性: データなし
畜毒性:	データなし	移動性: データなし
廃棄上の注意		
地域の固形廃棄物処理基準に基づき廃棄して下さい。(廃プラスチック類に相当)		
輸送上の注意		
(1)梱包材が破損することがありますので乱暴な取扱いをしないで下さい。		
(2)輸送中に荷崩れしない様に注意して下さい。		
(3)梱包材が破損しますので手鉤を使用しないで下さい。		
(4)水に濡れたり、直射日光が当たらない様に注意して下さい。		
主な適用法令		
該当なし		

記載内容の取扱いについて
<p>この安全データシートの記載内容は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提として、一般に入手可能な文献及び自社データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性の評価に関しては必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。</p> <p>注意事項は、通常の取扱いについて記述したものであって安全を保証するものではありません。従って、ここに記載した製品の特別な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>

注意医学的用途で、人体に移植及び恒久的に体液と直接接触する用途に使用しないで下さい。